

TIA 連携 国際シンポジウム開催案内

粒子線セラピー技術に関して、現在のセラピーシステムのフロンティアと先進的ハドロンドライバー・検出器技術が切り開くであろう次世代セラピーに関する講演と討論会を国際シンポジウムのスタイルで開催します。公的機関からは積極的な技術実証の報告と更なる進化の提案を、民間企業からは知財保護の観点から許される範囲内での話題提供と市場ニーズの把握の現状の報告が期待されます。会場の大きさに制約がありますので、参加希望者は早めに事務局まで申請下さい。定員になり次第締め切ります。

会場： つくば国際会議場小会議室（3F）

期間： 2018年3月13（火曜）8:30 — 14日（水曜）17:00

表題： 次世代ハドロンセラピーとビームドライバー

使用言語： 英語

参加費： 無し

懇親会： 3月13日（火曜）夜、参加費 5,000 円

連絡先：

参加申し込みに関しては シンポジウム事務局 馬場芳子 (baba@mail.kek.jp)

*申込みにあたっては、氏名、所属、メールアドレス、懇親会参加の有無の記載をお願いいたします。

講演内容に関しては 高山 健 (takayama@post.kek.jp)
榮 武二 (takejisakae@gmail.com)

予定する講演(仮表題)と講演者：

- (1) シンクロトロンに基づくスキヤニング照射方式陽子線及び重粒子線治療システム
えびな風太郎（日立）
- (2) 群馬大重粒子線医学研究センター炭素線セラピー
想田（群馬大）
- (3) 遅い繰り返しシンクロトロンドライバー（炭素）
TBA
- (4) CANO の現状（陽子、炭素）
Marco Pullia（CNAO）
- (5) サイクロトロンドライバー（陽子）
TBA（住重）
- (6) サイクロトロンドライバー（炭素）
TBA（IBA）
- (7) 動く標的と3Dスポットスキヤニング
榮（筑波大）
- (8) 炭素線治療用超伝導回転ガントリーの開発
岩田（放医研）
- (9) ビームオンラインPETシステム
西尾（東京女子医大）
- (10) Liq. Xenon PET Camera for small animals in Hospitals
Dominique THERS（Univ. of Nant）

- (1 1) 液体キセノン TPC 技術をベースにした全身 PET カメラと課題
田内 (KEK)
- (1 2) C-11 ビームによる炭素線治療のための ISOL システム開発の現状
片桐 (放医研)
- (1 3) レーザーアブレーション完全電離炭素イオン源
宗本 (KEK)
- (1 4) Cyclinac System
Jonathan Farr (ADAM)
- (1 5) 速い繰り返し RF シンクロトロンドライバー (iRCMS) TBA (BNL/Best Medical)
- (1 6) 速い繰り返し誘導加速シンクロトロンと Energy Sweep 取り出し 高山 (KEK)
- (1 7) 様々な粒子種による治療線量評価
高田 (筑波大)
- (1 8) 多軸回転照射用椅子・ベッド
TBA

TIA 連携シンポジウム開催組織委員会

高山 健 (KEK、代表)

榮 武二 (筑波大陽子線医学利用研究センター)